

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年7月後半）

1. 経済

●6月の失業率は前月と同じ6.9%で、前年同月比0.9%の増加。また、ADEM（注：当国の職業安定所）には6月末の時点で16,288名が求職登録しており、右は前年同月比で17.9%の増加である。（22日付統計局プレスリリース）

●携帯電話・通信会社であるOrange Luxembourg社、2013年上半期の売上は37.6百万ユーロで、前年同期比6.2%増加。EBITDA（利払い・税・償却前利益）は8.4百万ユーロ（前年同期は5.8百万ユーロ）であった。また顧客数は1年で5.2%の増加である。（23日付ヴォルト紙）

●当国の社会科学研究所であるCeps/Insteadの2009年から2012年を対象とした調査によると、当国における男性の平均給与は女性よりも8.7%高い（EUの同平均は16.1%）。他方、当国は34歳以下の層においては、女性の方が男性よりも平均給与が高いという結果であった。（23日付ル・コティディアン紙）

●国際法律事務所であるホーガン・ロヴェルズ、8月1日に当国に事務所を開設。同法律事務所は世界40カ国以上に展開しており、投資信託部門及び租税法強化戦略の一環として当国に進出する。（24日付ル・コティディアン紙）

●KPMGルクセンブルク社、日本担当窓口を開設した旨23日に発表。日本進出を目指す欧州企業、及びルクセンブルク進出を目指す日本企業を対象にサービスを提供する。（24日付ル・コティディアン紙）

●SES社、2013年上半期の売上高は910.5百万ユーロ（前年同四半期比2.1%増加）、同利益は268百万ユーロ（同▲10.3%）であった。また同社は2012年の実績及び2013年の4基の衛星発射計画に基づいて同年の売上高を前年比4-5%増と予測していたが、7月の露キャリアロケットを利用した衛星発射の失敗に伴い、衛星発射計画に遅れが生じているために売上高増予測を3-4%へと下方修正した。（27日付ル・コティディアン紙）

●7月の消費者信頼感指数は▲12（6月は▲11）で、3ヶ月連続で後退している。消費者は家計、経済全般、失業問題の先行きについて悲観的であり、特に失業問題について大きな懸念を有している。（30日付中央銀行プレスリリース）

2. 金融

●ロメスABBL（ルクセンブルク銀行協会）事務局長、2013年9月よりルクセンブルク企業連合（UEL）の執行委員会議長に就任。同氏は2014年3月まで両職を兼任した後、2014年4月にABBL事務局長を退職する予定。（16日付ヴォルト紙）

●中国建設銀行、当国に欧州拠点を設立すると15日に発表。中国銀行及び中国工商銀行に続き、当国で3行目の中国系銀行となる。（16日付ル・コティディアン紙）

- ロンドン証券取引所グループ、証券集中保管機関（Central Securities Depository: CSD）を2014年前半に当国において開設する旨発表。当国に所在する白系のユーロクリア社及び独系のクリアストリーム社の顧客の獲得を目指している。（17日付ヴォルト紙電子版）
- 2013年6月末時点の当国所在の銀行は142行（3月末時点より1行増加）、銀行セクターにおける就業者数は26,381名（同14名減少）である。（23日付中央銀行プレスリリース）
- 6月末時点の当国における投資信託資産残高は約2兆4865億ユーロで、5月末時点から3.77%減少であるが、前年同期比では11.78%の増加。（30日付金融監督委員会プレスリリース）

3. 政府

- シュナイダー経産相、当国を含むグランド・レジオン地域にて航空救護を行う非営利団体であるAir Rescueを17日に訪問。（17日付経産省コミュニケ）
- フリーデン財務相、2013年上半期の予算執行状況を19日に発表。政府の6月までの支出は6,962.7百万ユーロ（前年同期比4.9%の増加）、収入は6,368.3百万ユーロ（同1.6%の増加）で、赤字は594.5百万ユーロとなった。（19日付財務省コミュニケ）
- フリーデン通信・メディア相、当国ICT関連企業のロビー団体であるICT Luxembourgを23日に訪問。また当国ICT部門の発展のために、関係省と民間の連携を目的とするタスクフォースを設置する旨発表。（23日付メディア通信総局コミュニケ）

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。